

第1編 法人の部

1 中期事業計画の推進

令和6年度を初年度とする「中期事業計画」は、5年間における経営理念の実現に向けた具体的目標とそれを達成するための取組方針を定めたもの。6年度は4つの基本方針の下、個別の事業を実施した。

① コンプライアンスの徹底と公正で透明性高い組織構築

倫理や法令等の遵守の徹底に向けた管理体制を整備し、社会的ルール遵守の重要性について普及啓発した。また、理事会と評議員会、理事、監事及び評議員の相互牽制機能を十分に果たし、緊張感ある法人経営の実現と計画的かつ効率的な事業運営に努めた。

② 利用者の人権尊重と福祉サービスの質の向上

利用者の人権を尊重し尊厳を守るため、虐待等の早期発見・早期対応に向けた取り組みを強化し、個人情報保護に最大限配慮し、利用者の私有財産の適切な管理のため、成年後見制度の活用を促進した。また、利用者に対するサービスの質の向上を図るとともに、安全面へは最大限の配慮を行った。

③ 地域における公益的取組みと情報発信

地域の「福祉の総合相談窓口」として、多様な相談に応じる機能や適切な機関につなぐ機能を発揮し、新たな公益的取組や他の機関との連携・協働による取組について検討した。また、経営の透明性を確保するため、法人の業務及び財務情報などを社会や地域に対して積極的に公表した。

④ やりがいある職場環境づくりと人材育成

業務の標準化等により統一した業務行動を実践し、ICT等を活用した業務の効率化を積極的に推進。また、職員の募集・採用を図るとともに、職員が多様な働き方を選択できる職場を実現し、将来展望を持てるよう努めた。さらに、資格取得の促進や研修受講を奨励するなど人材育成に努めた。

2 重点取組の状況

(1) サービスの質の向上と人材育成

職員の資質向上や専門知識の取得、高度な介護技術が求められており、これらの課題を克服するよう、外部団体が主催する研修会等への参加を促進（年間延べ46名）するとともに、「社会福祉士」や「精神保健福祉士」など、利用者の支援に有益な資格の取得を促進するため助成制度を用意。令和6年度新規取得者は、社会福祉士2名。これにより、令和7年4月1日現在の在籍職員の延べ資格取得者数は、「社会福祉士8名」「精神保健福祉士3名」「介護福祉士8名」となった。

(2) 権利擁護の徹底

職員に対し人権の擁護及び虐待の防止等に関する研修を行い、常に利用者や保護者に対して人権の擁護及び虐待の防止等に意識を持って支援してきました。

(3) リスクマネジメントの強化

緊急時だけでなく、普段からリスクを前提にした思考や行動ができるよう、職員間で話し合うとともに、訓練を重ねてきました。

■避難訓練・火災訓練等		表中「訓練・備蓄等」の項目で「※」を付したものは「防災棟」に収納
訓練・備蓄等	具 体 的 内 容	実施状況等
○火災避難訓練	・館内放送に従い出火場所から遠い場所へ避難	年6回
○消火訓練	・消防機器取扱事業者の指導による訓練など（4・7月）	年2回
○地震・津波避難訓練	・館内放送の指示に従って決められた場所に避難	月1回
○AED操作訓練	・阿南市消防署の指導による訓練（9・10月）	年2回
○非常食の備蓄 ※	・水、白飯、五目飯、ドライカレー、パン、缶詰等	1,200食分
○非常時の水の備蓄 ※	・飲料水2リットル入りペットボトル	600本
○災害用品の備蓄 ※	・ポータブルトイレ、タオル、毛布、懐中電灯等	非常時使用
○防犯装置	・セコム㈱に警備委託。別に防犯カメラ設置。	防犯カメラ8台設置

＜新型コロナウイルス感染関係＞

① 利用者等の感染状況

発生時期	学園利用者		学園職員	ミント職員	計	特 記 事 項
	入所者	通所者				
令和6年5月	10		5		15	【クラスター：15人】
7月	4		3		7	
8月	6	1	2		9	
9月	4		3		7	
令和7年1月			1		1	
2月			1		1	
3月	2				2	
総数	26	1	15	0	42	

② クラスター発生に伴う対応

学園では、5月に利用者及び職員合わせて15名の集団感染（クラスター）が発生。

（対応状況）

- ・利用者の感染者が比較的少なかったため、静養室を隔離部屋に転用。隔離期間が経過するまで感染者が生活できるよう、日中及び夜間にそれぞれ担当の職員を充てて対応。隔離場所で使用した感染性の廃棄物は、他の場所に移さずごみ袋に封入の上、専門業者に処分等を委託。
- ・隔離場所で生活する利用者の食事は使い捨て食器を使用。その他の利用者も密を避け、時間差で食堂を利用。また、入浴も密を避けて利用するよう努めた。
- ・感染防止対策に万全を期すため、県から配布された抗原検査キットや感染対策用品のほか、必要に応じて衛生用品や感染対策物品等を購入。
- ・クラスター発生から収束するまでの間、通所者の生活介護、短期入所及び日中一時の受入れを中止するとともに、入所者の帰省や外出、保護者等との面会を制限。また、入所者が学園外で行う行事や外部の皆さんが来園して実施する行事については、延期・中止又は内容の変更で対応。

③ 日常の感染防止対策

- ・職員は「マスクの着用」「手指消毒の徹底」を図るとともに、発熱がある場合は休暇をとるよう指示。
- ・利用者には、定期的に検温を実施し、37.5度以上の場合は他の利用者から隔離。
- ・園舎内の消毒の徹底を図るとともに、こまめな換気に留意。

(4) 財政状況の安定化

上質なサービスを安定的に提供するためには、財政基盤の安定が不可欠。そのためには、常に無駄な支出を減らすとともに、事業活動収入の約8割を占める「生活介護」「施設入所支援」などの介護給付費に係る利用率向上による収入増を目指した。

※通所者に対して担任職員がこまめに状態確認をすること、施設入所者には日頃の健康管理に努めることなど

(5) 施設・設備の整備

現在地への新築移転から20年が経過し、施設の修繕や設備の更新が必要となっていることから、社会福祉充実残額の活用などにより施設の改修等を行うとともに、器具及び備品の整備を進めた。

■施設・設備等の整備状況					
No	施設・設備等の整備箇所等	整備の状況			
		取得時期	整備の内容	金額(千円)	業者名
1	食堂棟屋根・外壁改修工事	令和6年 04月26日	・ 食堂棟の屋根及び外壁が経年劣化してきたため、改修工事を実施	7,260	清水建設(株)
2	食堂棟外壁改修の追加工事	令和6年 04月26日	・ 食堂棟の改修工事着手後、事前調査で分からなかった劣化部分の追加工事を実施	3,300	清水建設(株)
3	体育館屋根・外壁改修工事	令和6年 06月28日	・ 体育館の屋根および外壁が経年劣化してきたため、改修工事を実施	9,460	清水建設(株)
4	施設定期調査に基づく修繕	令和6年 04月16日	・ 法定の定期調査で判明した改善を要する箇所の改修工事を実施	1,628	清水建設(株)
5	大型洗濯脱水機の購入	令和6年 05月01日	・ 利用者の衣類洗濯用の大型洗濯脱水機の耐用年数が経過したので更新	2,304	(株)SUNSUI
6	厨房用冷凍庫の購入	令和6年 05月13日	・ 厨房に設置している食料保管用冷凍庫が故障したので取替	709	厨房機器キムラ 木村雅美
7	保健室ノートパソコン購入	令和6年 09月04日	・ 保健室で使用する利用者の通院記録用パソコンを新たに購入	209	(株)金剛
8	業務支援ソフト使用権購入	令和6年 09月09日	・ 障害者支援施設の業務支援ソフトの使用頻度が増えたので新たに購入	893	(株)金剛
9	全自動洗濯機の購入	令和6年 09月10日	・ 既設置の全自動洗濯機が経年劣化で故障したので更新	111	(有)タニモトデンキ
10	給湯用のボイラー更新	令和6年 12月20日	・ 機器設置から20年を越え、耐用年数を過ぎているため、新機器に更新	8,140	(株)巴商会
11	男子棟1階廊下壁面の修理	令和6年 10月31日	・ 利用者が廊下の壁面を破損し、壁材が取れてい危険なため急ぎ修理を実施	244	ナカノ内装 中野聡一郎
12	渡り廊下土間段差解消工事	令和6年 10月31日	・ 食堂棟入口の土間部分が不当沈下により段差が生じているため、解消工事を実施	1,023	清水建設(株)
13	男子棟1階便所ブース修繕	令和6年 10月31日	・ 利用者が便所の間仕切り用の板を破損して危険なため、急ぎ修理を実施	260	ナカノ内装 中野聡一郎
14	会議用ノートパソコン購入	令和6年 10月17日	・ 主にWEB会議用として使用するため、新たにノートパソコンを購入	163	(株)金剛
15	ワンタッチテントの購入	令和7年 01月27日	・ 利用者の屋外活動の際に直射日光を避けるため、新たに1張購入	149	(有)フジシマス スポーツ
16	男子棟1階廊下壁面の修理	令和7年 02月28日	・ 利用者が再び廊下の壁面を破損して危険なため、急ぎ修理を実施	210	ナカノ内装 中野聡一郎
17	洗面所石けん供給栓取替	令和7年 03月11日	・ 男子棟2階洗面所に設置している石けん供給栓が故障したため、器具を取替	213	(株)四電工
18	勤務表作成ソフトの購入	令和7年 03月14日	・ 職員の勤務シフトを簡便に作成できるようにするためソフトウェアを購入	473	プロシステム(株)

(6) 社会貢献活動

自主防犯パトロールとして、1週間に3～4回、地元の富岡・見能林地区を3方面に分け、小・中学校の下校時に合わせて青色防犯パトロール活動を行った。(6年度は48回、延べ96名従事)

また、淡島海岸や浜の浦緑地(桑野川)での清掃ボランティアに参加するとともに、日頃、利用者が休憩に立ち寄る東部公園における月1回の清掃活動などの園外活動を実施。さらに、毎月1回、第2土曜の午後、障害の有無に関係なく気軽に茶飲み話をしたり、レクリエーションを楽しむことができる場所を提供する「ほんわかカフェ」を開設し、学園に対する理解を深めた。

1回当たり
平均10名程度

3 法人の役員等の状況

区分	定数	役員等の氏名(敬称略)	任 期
評議員	7名	松原良明、窪田光子、大松谷武司、尾崎正憲、松原和子、内海 剛、山崎師郎	令和11年6月の定時評議員会の終結時まで
理 事	6名	三牧スマ子(理事長)、蟻馬 治(業務執行理事)、田中敏彦、阪井俊弘、高谷篤芳、岩崎世都子	令和7年6月の定時評議員会の終結時まで
監 事	2名	東野 享、青木光男	同 上
評議員選任・解任委員	3名	松崎清治(外部委員)、東野 享(監事)、石橋さよみ(事務局)	令和10年6月の定時評議員会の終結時まで

4 評議員会・役員会等の開催状況

(1) 評議員会の開催

○定時評議員会

開催日 令和6年6月15日(土)
 場所等 淡島学園会議室／評議員7名、理事長、監事2名出席
 議 題 報告事項 令和5年度事業報告の件
 第1号議案 令和5年度計算書類等の承認の件

○令和6年8月評議員会(決議の省略)

決議日 令和6年8月21日(水)
 議 題 第1号議案 基本財産に属するボイラーの更新の執行の件

(2) 理事会の開催

○令和5年5月理事会

開催日 令和6年5月25日(土)
 場所等 淡島学園会議室／理事6名、監事2名出席
 議 題 第1号議案 令和5年度事業報告及び計算書類等の承認の件
 第2号議案 職員給与規程の変更の件
 第3号議案 定時評議員会の招集の件

○令和6年8月5日理事会（決議の省略）

決議日 令和6年8月5日（月）

議 題 第1号議案 基本財産に属するボイラーの更新の執行の件

○令和6年8月20日理事会（決議の省略）

決議日 令和6年8月20日（火）

議 題 第1号議案 運営規程の変更の件

○令和6年12月理事会

開催日 令和6年12月14日（土）

場所等 淡島学園会議室／理事6名、監事2名出席

議 題 第1号議案 令和6年度第1次補正予算の承認の件

第2号議案 役員賠償責任保険契約締結の承認の件

○令和7年3月理事会

開催日 令和7年3月15日（土）

場所等 淡島学園会議室／理事5名、監事2名出席

議 題 第1号議案 令和6年度第2次補正予算の承認の件

第2号議案 令和7年度事業計画及び当初予算の承認の件

第3号議案 規程等の変更の件

- ・育児・休業法の改正に伴う規程等の変更
- ・新たな処遇改善制度の完全施行に伴う規程変更
- ・県の指導監査に基づく運営規程の変更

（3）監事監査の実施

開催日 令和6年5月17日（金）

場所等 淡島学園会議室／監事2名出席

結 果 令和5年度の本部会計、施設会計、短期入所事業会計、相談支援事業会計の執行状況及びこれに伴う関係書類並びに法人、施設の運営状況、また、法人、施設の運営状況の各項目を監査し、適正に執行できていると認められた。

5 職員の状況

（令和7年3月31日現在）

常勤職員									非常勤職員	職員の総数 ①+②
	園長	事務員	サービス 管理責任者	生活 支援員	看護師	栄養士	相談支援 専門員	常勤職員 合計 ①	②	
男	0	1	0	14	0	0	1	16	1	17
女	1	3	1	13	1	1	1	21	12	33
計	1	4	1	27	1	1	2	37	13	50
5年度	1	3	1	28	1	1	2	37	7	44

※複数の職を兼務している職員は、本務の職に計上。

※職員の総数には、3月末退職者を含む。

6 法人が運営する事業内容

事業所の名称	サービスの種類	指定権者	指定の有効期間	備考
◎ 障害者支援施設 淡島学園	・ 生活介護	・ 徳島県知事	令和5年10月1日から 令和11年9月30日まで	・ 定員80名
	・ 施設入所支援			・ 定員70名
	・ 短期入所支援	・ 徳島県知事	令和6年10月1日から 令和12年9月30日まで	・ 定員2名
	・ 日中一時支援	・ 4市町の長	毎年度更新	・ 定員5名
◎ 相談支援事業 淡島学園	・ 指定特定相談支援	・ 阿南市長	令和6年4月1日から 令和12年3月31日まで	
	・ 指定障害児相談支援			
	・ 指定一般相談支援(地域移行) ・ 指定一般相談支援(地域定着)	・ 徳島県知事	令和7年4月1日から 令和13年3月31日まで	

※「日中一時支援」の契約市町：徳島市、小松島市、阿南市、那賀町

<相談支援に係る受託事業>

受託事業の名称	受託した事業の内容	委託先の市町	委託契約の期間	備考
○ 障害支援区分 認定調査業務 の委託	阿南市他から通知のあった対象者の障害支援区分を認定するために必要な調査を行い報告	・ 阿南市 ・ 小松島市	令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで	
○ 相談支援事業 委託業務	障害者に対する相談支援、住居入居等の支援、成年後見制度の利用支援などを実施	・ 阿南市 ・ 小松島市 ・ 那賀町	令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで	委託契約の相手先は3市町の代表である小松島市
○ 障害者虐待の 防止と対応に 関する支援事業 の委託	障害者虐待を受けた障害者の保護のため、障害者及び養護者に対して行う相談、指導及び助言等の支援など	・ 阿南市 ・ 小松島市 ・ 那賀町	令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで	

1 事業所運営の総括

利用者の自立と社会生活への参加の促進を図り、その育成に必要な支援及び訓練を実施。また、利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立った支援を行うことが重要と認識して、利用者及びその家族のニーズを的確にとらえた「個別支援計画」を作成し、適切なサービスが提供できるよう努めた。

さらに、できる限り居宅に近い環境の中で、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、市町村、障害者支援施設、障害福祉サービス事業を行う者、その他保健医療や福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めた。

2 福祉サービスに関する事業所の体制

(1) 人権擁護及び虐待の防止委員会

職員に対し、人権擁護及び虐待の防止に関する研修を行い、常に利用者やその保護者に対し「人権擁護及び虐待防止」等の意識を持って支援するとともに、組織体制を整備した。

- ・ 責任者 三牧スマ子（園長）
- ・ 専従委員 ◎柏木多恵、◎赤松俊明、尾花直美（以上、サービス管理責任者）
（◎は受付担当） 高橋和菜子、松葉幸子、村田浩一、泉 文昭、佐川知久、米田美香、渡邊晶子（以上、生活支援員）

(2) 苦情解決体制

苦情に対応しその解決を図るため、受付窓口、責任者、第三者委員等を選任するなど、苦情解決体制を整備した。※令和6年度は3件の苦情あり。（令和5年度は4件）

- ・ 相談窓口 淡島学園 電話（0884）22-0379/FAX（0884）22-6648
- ・ 責任者 三牧スマ子（園長）
- ・ 受付担当 柏木多恵、尾花直美（以上、サービス管理責任者）
- ・ 第三者委員 松原良明（法人評議員）、東野 享（法人監事）

■苦情解決事項		
苦情受付日及び申出人	苦情の内容	学園の苦情への対応状況
① 令和6年04月26日 利用者の親	①「地域移行の意向確認」に関し、国から言われたら何でもするのか。②「個別支援計画」に判断能力なき本人が署名すべきではない。③「利用者向け文書」の発出者が不明確。	→ ①は、厚労省の方針に基づき県からの指導。 ②は、今後本人に署名を求めない。 ③は、今後の検討課題とする。
② 令和6年05月28日 利用者の親	送迎サービスを利用。通所後に大雨警報が発表されたため、保護者が迎えに行くこととなった。大雨になることは前もってわかっていたのに、帰りの送りができないとは如何なものか。	朝の迎え時には大雨警報が出ていなかったため通所サービスを実施。その後「警報が発表されたので通所サービスを中止した」旨を説明した上で、「都合の良いときにお迎えをお願いしたい」と伝えた。
③ 令和7年02月28日 利用者の家族	利用者が帰省時に渡した服薬用の薬が2日分少ないと支援員が気づき連絡したところ、「学園側の確認不足の事案であるので、全体に周知するとともに再発防止策を報告すること」との要望あり。	この事案は、複数の医療機関で処方された薬の管理に関し、在庫確認が不十分であったもの。職員会議で薬の在庫確認表を作成する旨を報告し、全職員に周知するとともに、保護者に対応策を報告した。

■事故報告											
年度／区分	事 故 の 内 容						事故総数 (左記の計)	ヒヤリハット			
	誤薬等	骨折等	転倒等	暴 力	無断外出	その他		転倒等	暴 力	その他	(計)
令和6年度	5	5	23	2	4	3	42	2	5	11	18
令和5年度	1	0	7	4	2	5	19	5	11	21	37

(原因と対応)

- 入所者の高齢化が進み、「転倒」により骨折する事例が多くなった。また、突発的に「暴力」を振るう利用者が増えてきたため、利用者の特性を理解し、常に緊張感をもって支援するように指示。
- ヒヤリハット事例については、重大な事故につながらないように、再度のマニュアル徹底を指示。

(3) 給食委員会

給食をよりおいしく食べられるよう、献立、味付け、量などについて、委託業者と学園職員が月1回協議の場を設けた。

- ・ 委託業者 「ミント」の職員、栄養士、調理員
- ・ 淡島学園 三牧スマ子（園長）、原田律子（栄養士）、柏木多恵、赤松俊明、尾花直美（以上、サビ管）
延口俊輝、岡崎千代美（以上、生活支援員）

(4) 防災委員会

火災だけでなく、地震、津波による被害を防ぐため、毎月1回話し合いの場を設けた。

- ・ 責任者 三牧スマ子（園長）
- ・ 委員 豊岡正志（防災管理者）、柏木多恵、赤松俊明、尾花直美（以上、サビ管）
森田真由美、原 和男、吉野輝明、松葉幸子、表原英代、川上昌洋（以上、生活支援員）

(5) 班長会

利用者のサービス向上に向けて、ひまわり班をはじめ5つの班の現状と課題を検討するため、毎月1回定例会を開催した。

- ・ 構成員 三牧スマ子（園長）、柏木多恵、赤松俊明、尾花直美（以上、サービス管理責任者）
赤松俊明（スマイル班）、原 和男（ひまわり）、板東基史（カモト班）、
豊岡正志（エール班）、村田浩一（アサヒ班）

(6) 危機管理委員会

新型コロナをはじめとする感染症対策や感染症発生時における対応作などについて話し合うため、毎月1回委員会を開催した。

- ・ 責任者 三牧スマ子（園長）
- ・ 委員 柏木多恵、赤松俊明、尾花直美（以上、サービス管理責任者）
松葉幸子、上田香織、田上友季也、清崎達史、伊藤裕介、黒田真貴子（以上、生活支援員）

(7) 感染対策委員会

学園内における感染対策の在り方や健康管理マニュアルの見直しなどについて話し合うため、毎月1回委員会を開催した。

- ・ 責任者 三牧スマ子（園長）
- ・ 委員 柏木多恵、赤松俊明、尾花直美（以上、サービス管理責任者）
 蛭子たまき（看護師）、川上昌洋、篠原広法、中島朗子、保岡智美、
 横田優子、安田涼夏（以上、生活支援員）

（８）入所判定委員会

退所により入所枠が空いた場合、新たな利用者の入所の可否について協議するため、必要に応じて開催した。

- ・ 責任者 三牧スマ子（園長）
- ・ 委員 柏木多恵、赤松俊明、尾花直美（以上、サービス管理責任者）
 近藤泰司、西村浩子（以上、相談支援専門員）、石橋さよみ（事務員）他各担当者

（９）居室整備委員会

入所者が季節に応じて快適に生活を送ることができるよう、居室内の整理や支援の方法などを話し合うため、毎月１回話し合いの場を設けた。

- ・ 委員 柏木多恵（サービス管理責任者）
 中島朗子、延口俊輝（以上、生活支援員）

３ 支援事業実施報告

（１）生活介護事業

昼間において常に介護を必要とする利用者について、各自の障害の程度や希望を取り入れ、生活班と作業班に分けて個別支援計画を立て、各班独自の支援を行った。生活班は、基本的生活習慣である食事、排せつ、清潔、睡眠、衣類の着脱等に主眼を置いて実施。作業班では、利用者の能力に応じた作業訓練を通じて、作業参加による満足感や達成感を味わい、自主性・協調性・勤労意欲を養うことで、社会の一員として活動しているとの認識を持てるよう支援した。

（２）施設入所支援事業

夜間における入浴、排せつ、食事等の介護を行い、夜間の生活におけるくつろぎの場を提供し、就眠の確保を図るよう支援。職員は利用者一人ひとりの要望に応じて、常にきめ細やかな支援を行うよう心がけた。

（３）短期入所事業

居宅において介護を行う者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする障害者等につき、入浴、排せつ、食事の介護、その他必要な支援を実施。なお、新型コロナのクラスターが発生した５月には、感染防止の観点から受入れを中止した。

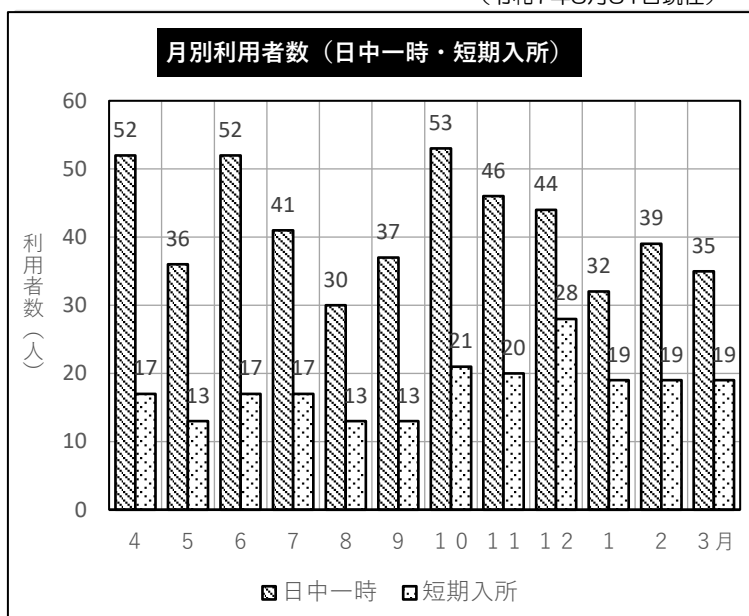
（４）日中一時支援事業

障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息の時間を提供するため、障害者及び障害児に活動の場を用意し、社会に適應するための日常的な訓練を支援。なお、新型コロナのクラスターが発生した５月には、感染防止の観点から受入れを中止した。

<支援区分別利用者の状況> ()内は平均利用者数

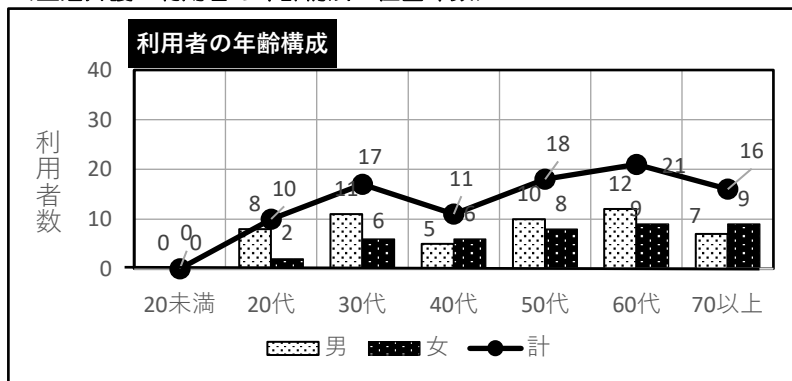
(令和7年3月31日現在)

支援区分		06年度	05年度
生活介護	男	53	52
	女	40	41
	計	93(82.8)	93(83.3)
施設入所支援	男	39	40
	女	34	34
	計	73(70.5)	74(72.0)
短期入所事業	男女延べ人数	216	171
日中一時支援	男女延べ人数	497	388



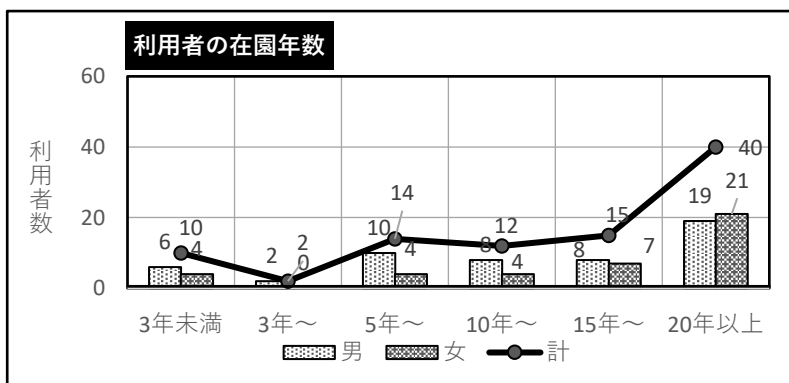
※5月に新型コロナ・クラスターが発生した為、短期入所・日中一時ともに受け入れを中止した。

<生活介護・利用者の年齢構成・在園年数>



<利用者の年齢構成>

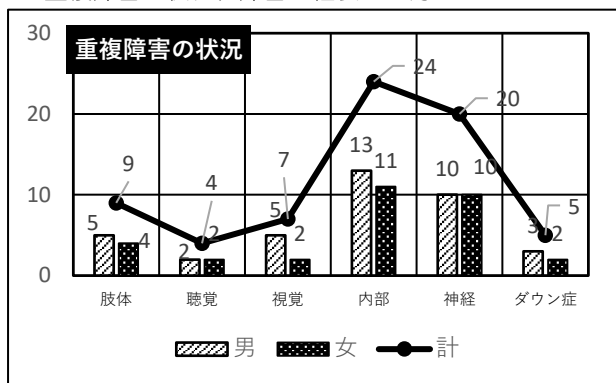
- 最高年齢 86歳
- 最低年齢 21歳
- 平均年齢 52.0歳



<利用者の在園年数>

- 最短は 1年未満
- 最長は 61年
- 平均は 23.7年

<重複障害の状況、障害の程度・区分>



療育手帳				障害支援区分			
程度	男	女	計	区分	男	女	計
A 1	23	10	33	6	26	18	44
A 2	22	18	40	5	16	9	25
B 1	6	10	16	4	8	8	16
精神	2	2	4	3	3	5	8
その他	0	0	0	2	0	0	0
計	53	40	93	計	53	40	93

<生活介護・市町村別利用者の状況>

(令和7年3月31日現在)

令和6年度	市 町 村 別																合計
	徳島市	鳴門市	小松島市	阿南市	吉野川市	阿波市	美馬市	上勝町	神山町	那賀町	美波町	海陽町	上板町	大板町			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	
5年度	12	1	18	45	1	1	3	1	1	4	3	1	1	1			93

(5) 相談支援事業

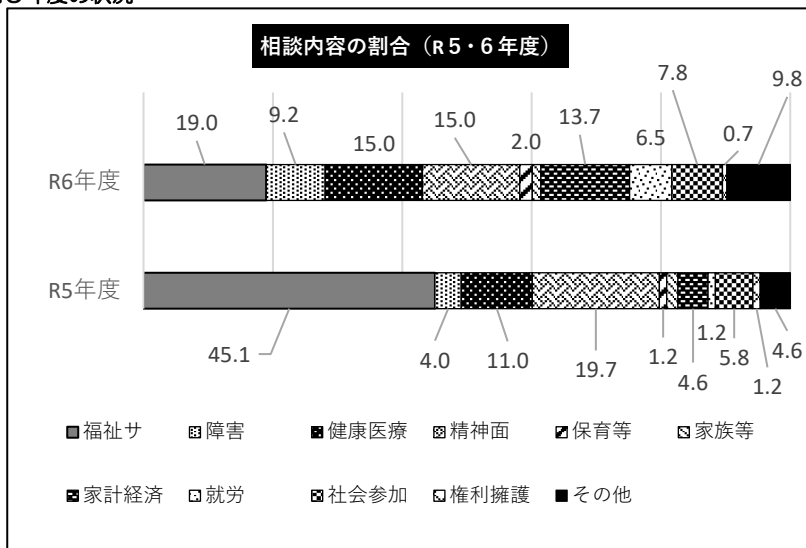
地域の障害者または障害者の保護者からの福祉に関する相談に応じ、必要な情報の提供や助言を行うとともに、これらの者と市町村及び指定障害福祉サービス事業者等との連絡調整を実施。また、利用者別のサービス利用計画の作成等も行った。

<相談支援の利用状況> ()内は令和5年度の状況

市町村別	利用者の実人数	
	障害者	障害児
・ 小松島市	1 (1)	0 (0)
・ 阿南市	44 (58)	3 (31)
・ 那賀町	2 (4)	2 (0)
※ 計	47 (63)	5 (31)

<計画相談の利用状況>

(単位:人)	6年度	5年度
・ 障害者	725	664
・ 障害児	216	196
※ 計	941	860



4 利用者へのサービス提供の状況

(1) 健康管理支援

高齢化に伴う体力の低下とともに疾病が増えることから、年2回の定期健康診断により疾病の早期発見・早期治療に努めました。また、高齢者に対してはそれぞれの健康状態に応じて内科検診のほか、歯科、耳鼻科、皮膚科、眼科等の検診も行うなど、きめ細やかな支援に努めました。

※令和6年度の医療機関受診の延べ人数は、全体で798人（平均11回）／前年度409人（平均6回）

・男子346人（平均9回）／前年度154人（平均4回）

・女子452人（平均13回）／前年度255人（平均8回）

■入所者の医療機関受診状況							
医療機関名		診療科目	所在地	年間の受診状況（人）			
				男子	女子	合計	令和5年度
協力医療機関	・村上内科外科医院	内科・外科	阿南市	59	71	130	35
	・富田病院	精神科	美波町	12	53	65	48
	・虹の橋葵ホスピタル	精神科	徳島市	36	45	81	54
	・杜のホスピタル	精神科	阿南市	98	91	189	63
	・神原歯科医院	歯科	//	17	14	31	19
	・木下婦人科医院	婦人科	//	0	0	0	0
その他	・上村皮膚科	皮膚科	//	7	13	20	23
	・阿南医療センター	内科ほか	//	18	30	48	78
	・その他			99	135	234	89
（合計）				346	452	798	409

■利用者の健康管理等		
実施区分	実施医療機関等	実施状況等
○健康相談	・村上内科外科医院	月1回
○定期健康診断	・村上内科外科医院（4・9月）	年2回
○成人病検診	・木下婦人科医院（新型コロナ感染防止の面から必要時に対応）	随時
○レントゲン診断	・とくしま未来健康づくり機構（7月）	年1回
○歯科診療	・歯科医師会の派遣歯科医（1月）	年1回
○臨床実習・歯磨き指導	・四国歯科衛生士学院専門学校（11月2回・12月1回）	年3回
○歯科往診	・吉田歯科（10月から）	月1回
○口腔ケア	・歯科衛生士の資格を有する非常勤職員（2月から）	週1回
○インフルエンザ予防接種	・村上内科外科医院（11月）	年1回
○長期投薬者の健康診断	・富田病院、虹の橋葵ホス、杜のホスピタル	随時
○害虫（ゴキブリ）駆除	・株ニッシンテクノス（5・11月）	年2回
○AEDの設置	・自動体外式除細動器	保健室

(2) 給食支援

健康管理の面から肥満、高血圧、高コレステロール、糖尿病、痛風、アレルギー等の予防に力を入れ、食事の摂取量や内容、運動量に留意してきた。また、既に病気を持つ利用者には担当医の指示に従い、療養食献立と投薬で回復を図ってきた。

（３）災害対応支援

災害対応の避難訓練は、高齢者や身体障害のある利用者が多いため、昼間だけでなく深夜の発災も想定して実施。また、ＡＥＤ使用に熟練できるよう全職員を対象にした講習会を行うとともに、テレビや新聞などの災害報道を職員や利用者に周知することにより、防災意識が高まるよう努めた。

さらに、「防災棟」は、津波や洪水の際に利用者が数日間避難できる場所と備蓄品の置き場、利用者の衣類等の保管庫を備えた災害対応施設として活用。

（４）保健衛生

常に手洗い、消毒などに留意し、食中毒、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症予防に努めた。

「新型コロナウイルス」感染防止対策として、手指消毒、園舎内消毒、マスク着用、入所者の外泊及び通所による利用の制限などを行った。（第１編 法人の部２ｐ参照）

（５）クラブ活動

習字や絵画の作品は力作が多いことから、展覧会で高い評価が得られた。また、茶道クラブは外部から指導者を招いており、礼儀作法や集中力を身に付け、心を豊かにすることに寄与。

（６）環境整備と施設整備

施設内外の美化と利用者身辺の整理整頓・清潔に努めるとともに、月１回「環境の日」を設け、各所の清掃を実施。また、施設・設備が壊れたりしているのを発見した場合、直ちに修理等を行うなど、利用者が安心して心地よい生活ができるよう努めた。（第１編 法人の部３ｐ参照）

（７）職員の資質向上

生活介護と入所支援の必要な知識や技能を身につけ、障害の特徴と留意すべきことを理解し、援助に必要な知識や技能を具体的に捉えるなど、人的資源の提供に努めた。

また、支援担当職員の資質向上に向けては、月１回の施設内研修に加えて、外部の研修会への参加を促進するなど、援助に必要な知識や技能が高められるよう努めるとともに、社会福祉士等の資格取得費の半額を補助することで有資格者が増えるよう努めた。

■施設内研修				
月	研 修 内 容	分類	講師（事例発表者）	参加者
4	防災機器関連の取扱いと通報訓練	業務継続計画	防火管理者（豊岡）	29
	支援ソフト「ほのぼの」の操作方法	そ の 他	サビ管（赤松）	29
5	障害者の権利擁護（自己決定と権利擁護の関係）	法令遵守	サビ管（柏木）	35
	口腔衛生と歯磨き支援	感 染 症	四国歯科衛生士学院 船奥様	26
6	障がい福祉サービスなどでの個人情報の取扱い	法令遵守	サビ管（柏木）	26
	障害者差別解消法に係る研修（WEB）	法令遵守	サビ管（柏木）	26
	交通安全講習	法令遵守	阿南警察署 森様	23
8	防災教育・消火訓練・器具操作実演	業務継続計画	芝原電気 芝原様	35
9	起震車体験・南海トラフ地震を知る・避難所運営方法	業務継続計画	県保福部、南部県民局職員	24
	記録の書き方の基本的留意点、目的など	そ の 他	生活支援員（渡邊）	26
10	心肺蘇生法とＡＥＤの活用方法（１班）	そ の 他	阿南市消防本部 ２名	16
	健康管理マニュアルの研修	感 染 症	サビ管（柏木）	17
	事故対応マニュアルの研修	そ の 他	サビ管（柏木）	17
	虐待防止・心の整理術（WEB）	虐 待 防 止	センター東病院 佐々木様	17
11	心肺蘇生法とＡＥＤの活用方法（２班）	そ の 他	阿南市消防本部 ２名	18
	感染対策	感 染 症	阿南医療センター 原崎様	22

月	研 修 内 容	分類	講師（事例発表者）	参加者
12	身体拘束の適正化のための指針	身体拘束適正化	サビ管（柏木）	27
	コンプライアンス研修	法令遵守	サビ管（柏木）	27
1	カスタマーハラスメント（WEB）	そ の 他	YouTube視聴	33
	来年度に向けての見直し（1）	そ の 他	サビ管（柏木）	29
2	来年度に向けての見直し（2）	そ の 他	サビ管（柏木）	33
3	来年度に向けての見直し（3）	そ の 他	サビ管（柏木）	24

年間の受講者の延べ人数→（ 559 ）

■施設外研修

月	研 修 内 容	分類	出 席 者	延べ人数
4	強度行動障がい支援者養成研修(基礎)（30日・1日/総福セ）	虐待防止	生活支援員2名	4
5	チームリーダー研修会（13日/WEB）	虐待防止	〃	1
	新任教員研修「共に歩む、福祉の心と技」（22日/グランドイリア）	虐待防止	〃	1
	障がい者施設の大規模地震対策（29日/総福セ）	業務継続計画	〃	1
	ソーシャルリクルーティング研修（29日/WEB）	そ の 他	事務員	1
6	対人援助職のためのコミュニケーション研修（6日/アスティ）	虐待防止	生活支援員	1
	給食施設における衛生管理研修（28日/阿南保健所）	感染症	サビ管、栄養士	2
7	経営協セミナー（3日/WEB）	法令遵守	事務員	1
	南部I 障がい者自立支援協研修会（23日/阿南保健所）	虐待防止	サビ管	1
	記録の書き方研修（25日/WEB）	そ の 他	生活支援員	1
8	能登半島地震に学ぶ合同研修会（2日/WEB）	業務継続計画	生活支援員	1
	若年層対策事業に係る支援者向け研修会（21日/WEB）	そ の 他	〃	1
	コミュニケーション技法研修会（21日/古野川育成園）	虐待防止	サビ管兼生活支援員	1
9	県集団給食施設協「給食業務のBCP」研修（3日/WEB）	業務継続計画	栄養士	1
	経営協セミナー（10日/丸根）	法令遵守	事務員	1
	強度行動障がい支援者養成研修(実践)（11日・12日/総福セ）	虐待防止	生活支援員	1
	安全運転管理者講習会（12日/夢ホール）	法令遵守	生活支援員	1
	福祉協「高齢者雇用確保措置」研修（13日/アスティ）	法令遵守	事務員	1
	経営協研修会「広域連携支援に関する研修会」（13日/WEB）	業務継続計画	生活支援員	1
	感染対策禍の権利擁護研修会（18日/徳島市）	虐待防止	サビ管	1
	チームリーダーのためのステップアップ研修（24日/郷文）	虐待防止	生活支援員	1
10	相談支援従事者研修(初任者)（9/26・12/5・2/7/交流P）	そ の 他	相談支援専門員(支援員兼務)	3
	全国知的障害福祉関係職員研究大会（2日～/福井市）	そ の 他	生活支援員	2
	経営協「社会福祉法人会計セミナー（入門）」（9日/アスティ）	法令遵守	事務員	1
	社会福祉法人におけるBCP研修会（10/15・12/10/WEB）	業務継続計画	事務員	2
11	チームリーダーのためのステップアップ研修（16日/郷文）	虐待防止	生活支援員	1
	南部圏域災害時要配慮者支援研修会（7日/南部県民局）	業務継続計画	〃	1
	年末調整研修会（19日/夢ホール）	そ の 他	事務員	1
12	対人援助職のためのコミュニケーション研修（21日/アスティ）	虐待防止	生活支援員	1
	「強度行動障害のある人の支援」研修（2日/総福セ）	虐待防止	生活支援員	1
	障がい者の集い県民大会（7日/障がい者交流プラザ）	そ の 他	栄養士	1
	強度行動障がい支援者養成研修(基礎)（12日・13日/総福セ）	虐待防止	生活支援員	2
	社会福祉法人会計セミナー（13日/WEB）	法令遵守	事務員2名	2
	福祉職場のリスクマネジメント研修（20日/WEB）	業務継続計画	生活支援員	1
1	集団給食協「命をつなぐ食」（23日/阿南保健所）	業務継続計画	栄養士	1
	公正採用選考人権啓発研修（24日/ひまわり会館）	法令遵守	事務員	1
	改正育児・休業法等のポイント説明（28日/夢ホール）	法令遵守	〃	1
2	福祉協会栄養士研修会（29日/希望の郷）	感染症	栄養士	1
	強度行動障害のある人の支援に関する研修（5日/総福セ）	法令遵守	生活支援員	1
	総務部会「民間退職の制度」研修（10日/アスティ）	そ の 他	事務員	1

年間の研修等受講者の延べ人数→（ 46 ）

※前年度の延べ受講者数は53人

5 利用者の作業支援の状況

新型コロナ感染防止対策として、令和2年9月から通所者だけの「スマイル班」を編成するとともに、園芸班とソーイング班を合わせて「エール班」として再編。（各班の人数は令和7年3月31日現在）

（1）ひまわり班 （17名／男7名・女10名）

身体の保持と情緒の安定を図り、基本的な生活習慣の確立及び身体各部の機能訓練を行い、心と体の調和した発達を支援。特に、個々の能力を把握し、障害の程度に応じた機能訓練及び基本的な生活習慣を重点に支援しました。また、各種運動を取り入れ、体力づくりと機能低下防止に努めてもらいました。

（2）スマイル班 （20名／男14名・女6名）

新型コロナの感染拡大防止を目的として、令和2年9月から通所者を「スマイル班」に集約。作業室への出入口及び昼食場所については入所者と分離し、できるだけ接触がないようにしました。通所者を一つの班に集約したため、個々の能力に応じた作業訓練メニューをつくり、自主性や協調性を身につけられるよう支援しました。

（3）アサヒ班 （16名／男11名・女5名）

作業を通じて意欲や根気強さを養い、作業に対する喜びを知ってもらうとともに、他の利用者との協調性を図り、責任感を持ってもらえるようにしました。また、生活支援を通じて清潔感を醸成し、規則正しい生活習慣を身につけてもらえるように努めました。さらに、各種運動を取り入れ、明るく健康で素直な精神と体力が養われるよう支援しました。

（4）エール班 （21名／男9名・女12名）

園芸の部門では、作業を行う際、個々の能力にあった役割を分担し、作業意欲や安定性、確実性の醸成とともに興味や自信を持ち、楽しく作業に参加できるよう支援しました。ソーイング部門では、手芸品などの制作を通じて、ものづくりの喜びと楽しさを知り、協調性や責任感を持てるよう支援しました。そして、商品として社会の中で流通するという認識を持つことで、ものを大切にするという気持ちを持ってもらうとともに、作業への参加が社会経済活動であると認識できるよう努めました。

また、地域住民との交流を通じて社会性が向上するよう、清掃活動やボランティア活動への参加を促進するとともに、洗濯作業を通じて清潔感を養い、生活のスキルが高まるよう支援しました。

（5）カモト班 （19名／男12名・女7名）

作業を通じて意欲や根気強さを養い、作業に対する喜びや他の利用者と協調することの大切さを知り、責任感を持てるよう支援しました。また、生活支援を通じて清潔感を醸成し、規則正しい生活習慣が身につくようにしました。さらに、各種運動を取り入れ、明るく健康で素直な精神と体力が持てるよう支援しました。

6 利用者の活動状況

(1) 利用者の日課

利用者の日課表		
	平 日	土 日 祝 日
07:00	起床・洗顔	起床・洗顔
07:15	手洗い、朝食準備	手洗い、朝食準備
07:30	朝食、終了後自由時間	朝食、終了後自由時間
08:30	ホームルーム、検温	08:30～10:00 朝会、体温・血圧測定 (日曜)洗面用具の点検消毒など
08:45	職員朝会	
09:00	利用者朝会	
09:10	モーニングウオーク	
09:30	清掃、人数確認、洗顔、歯磨き、検温 班別支援(作業)、保健衛生、血圧測定	10:00 ティータイム 自由時間(買物実習)
11:50	手洗い・昼食準備	手洗い・昼食準備
12:00	昼食・休憩	昼食・休憩
13:00	班別支援(作業)、検温、入浴	自由時間(買物実習)、検温
15:00	体操、ジュース、班別支援(作業)、検温	ティータイム、自由時間
16:00	居室の清掃	居室の清掃、自由時間
16:30	ホームルーム、自由時間	
16:45	手洗い・夕食準備	手洗い・夕食準備
17:00	夕食、終了後自由時間	夕食、終了後自由時間
17:30	自由時間	自由時間
19:00	検温	検温
21:00	就寝準備	就寝準備
22:00	就寝	就寝

※入浴は、男女とも、6月～9月は月・火・水・金、10月～5月は月・水・金に実施。

(2) 年間の活動状況

参加者数欄の()は引率職員の人数

行 事 区 分			
学園行事・保護者行事 (○学園、●保護者)		スポーツ・地域交流 (○スポーツ、●交流)	
	参加者数		参加者数
■4月			
○ピクニック			
①アサヒ班(5日/竜宮公園)	16名(4)		
②スマイル班(9日/岩脇公園)	11名(4)		
③エール班(12日/熊谷の桜)	21名(2)		
④カモト班(26日/小松島・狸公園)	18名(5)		
○アフタヌーンティ(園内)			
①エール班(12日)	21名(2)		
②スマイル班(19日)	15名(4)		
③アサヒ班(19日)	16名(3)		
④ひまわり班(23日)	17名(5)		
⑤カモト班(26日)	18名(3)		
○バースデーランチ(19日/豚太郎)	4名(2)		
○春の健康診断(8日～24日/村上内科)	90名		
■5月			
○ティイクアウト食(園内)		○ノーマビックスports大会(11日)	10名(2)
①COCO壱番屋(2日)	19名(4)	○春の健康ウォーク(23日)	
②豚太郎(16日)	19名(4)	→新型コロナ・クラスター発生で中止	
③モスバーガー(24日)	21名(4)		
○バースデーランチ(8日/ド'ライヴ 阿南)	4名(2)		
○ふれあい弁当の日(23日/園内)	67名(24)		
○ピクニック			
⑤ひまわり班(28日/大浜海岸)	17名(4)		

(前頁からの続き)

参加者数欄の()は引率職員の人数

行 事 区 分			
学園行事・保護者行事 (○学園、●保護者)		スポーツ・地域交流 (○スポーツ、●交流)	
	参加者数		参加者数
■6月			
●美化活動(8日)→保護者32名参加 ○バースデーランチ(11日/ドライブ阿南) ○アフタヌーンティ(園内) ①アサヒ班(11日) ②ひまわり班(12日) ③カモト班(17日) ④エール班(21日) ⑤スマイル班(25日) ○日帰り旅行 ①1班(13日/淡路島・うすの丘) ②2班(20日) ○ドライブ ①スマイル班(25日/阿南西部公園) ②パソコンクラブ(27日/阿南西部公園)	4名(2) 15名(3) 17名(5) 17名(2) 20名(3) 13名(3) 17名(5) 11名(4) 13名(3) 20名(3)		
■7月			
○テイクアウト食(園内) ①すき家(4日) ②ピザロイヤルハット(19日) ③わんすとおっふ(23日) ○ドライブ ③アサヒ班(9日/虹の丘公園) ④DVDクラブ(25日/大神子海岸) ○結核検診(12日/学園) ○納涼祭(18日/園内) ○バースデーランチ(19日/豚太郎) ○買物実習(23日/アピカ)→新型コロナ発生で中止	18名(3) 15名(3) 23名(4) 16名(3) 22名(4) 85名 各班別 3名(2)	●作品展見学(12日/那賀川図書館)	15名(3)
■8月			
○バースデーランチ(9日/豚太郎) ○アフタヌーンティ(園内) ①エール班(23日) ②スマイル班(23日) ③アサヒ班(27日) ④カモト班(27日) ⑤ひまわり班(27日)	4名(2) 21名(4) 13名(3) 16名(3) 17名(4) 17名(4)		
■9月			
○秋の定期健康診断(12日~/村上内科) ○楽しめる行事 ①ぶどう狩り(3日/三木ブドウ園) ②ドライブ(10日/神山方面) ○テイクアウト食(園内) ①豚太郎(5日) ②モスバーガー(13日) ③COCO壱番屋(19日) ○還暦を祝う会(25日/園内) ●美化活動(28日)→保護者30名参加	92名 14名(4) 15名(4) 19名(3) 20名(3) 19名(3) 対象者3名	●クリーン活動(13日/淡島海岸) ●淡島海岸ビーチクリーン(15日/淡島海岸) →コロナ静養者がいる為、昼食をテイクアウト	21名(3) 5名(1)
■10月			
○楽しめる行事 ③映画鑑賞(8日/イオンシネマ) ④エール班行楽(29日/イオンシネマ) ⑤カモト班ドライブ(30日/竜宮公園) ○バースデーランチ(18日/豚太郎)	19名(5) 21名(4) 18名(4) 7名(2)	●地元消防団と合同消火訓練(5日/園) ●エナジー見学(10日/文化の森) ●mogu祭見学(14日/那賀川町) ○スポーツ練習会(22日/前山公園) ○学園運動会(25日/学園グラウンド)	69名(7) 18名(3) 5名(1) 2名(2) 71名(34)

(前頁からの続き)

参加者数欄の()は引率職員の数

行 事 区 分			
学園行事・保護者行事 (○学園、●保護者)		スポーツ・地域交流 (○スポーツ、●交流)	
	参加者数		参加者数
○アフタヌーンティ(園内)			
①ひまわり班(18日)	16名(5)		
②エール班(24日)	21名(4)		
③カモト班(29日)	18名(5)		
④スマイル班(29日)	11名(3)		
⑤アサヒ班(31日)	16名(3)		
■11月			
○テイクアウト食(園内)		○スポーツ練習会(7日/前山公園)	10名(2)
①モスバーガー(5日)	20名(3)	●ゆうあいスポーツ四国愛媛大会	
②わんすとおぷ(19日)	19名(3)	(13日・14日/愛媛)	10名(4)
③小僧寿し(22日)	18名(3)	●リパークリール活動(16日/浜の浦緑地)	4名(1)
○買物実習(5日～28日に9回/アピカ外)	27名(17)		
○インフルエンザ予防接種(7日/学園)	89名		
○スマイル班ドライブ(15日/見能林コスモス畑)	13名(3)		
○害虫駆除の日・食事会(26日/園内)	82名(25)		
●保護者・職員親睦日帰り旅行(29日/香川)	13名(5)	→ 保護者21名参加	
■12月			
○アフタヌーンティ(園内)		○ミニ運動会(3日/園体育館)	82名
①ひまわり班(4日)	17名(4)	●ふれあい町づくりフェア見学	
②アサヒ班(10日)	16名(3)	(8日/夢ホール)	5名(1)
③エール班(20日)	21名(3)	●あなたのアートで彩る2025年表彰式	
④カモト班(23日)	18名(3)	(13日/文化の森)	5名(2)
⑤スマイル班(26日)	12名(6)		
○年末買物実習			
①1回目(5日/アピカ)	11名(5)		
②2回目(16日/アピカ)	1名(1)		
③3回目(24日/アピカ)	1名(1)		
○年末大掃除(10日・20日/園)	各班職員		
○12月誕生会(11日/学園)	8名		
○クリスマス会(16日/学園)	各班利用者		
○四電青年部Xマス贈呈式(19日/学園)	利用者代表		
■1月			
○テイクアウト食(園内)		○初詣(1日/富岡・円長寺)	7名(2)
①わんすとおぷ(14日)	19名(3)		
②COCO壱番屋(19日)	21名(3)		
③コメダ珈琲店(28日)	20名(3)		
○県歯科医師会の巡回検診(9日)	48名		
○バースデーランチ(29日/コメダ珈琲店)	2名(2)		
■2月			
○アフタヌーンティ(園内)			
①カモト班(14日)	17名(3)		
②スマイル班(18日)	10名(5)		
③アサヒ班(18日)	16名(2)		
④ひまわり班(20日)	17名(3)		
⑤エール班(25日)	21名(4)		
○バースデーランチ(21日/豚太郎)	4名(2)		
○新年会(27日/園)	各班別		

(前頁からの続き)

参加者数欄の()は引率職員の人数

行 事 区 分			
学園行事・保護者行事 (○学園、●保護者)		スポーツ・地域交流 (○スポーツ、●交流)	
		参加者数	参加者数
■3月			
○テイクアウト食(園内)			
①小僧寿し(4日)	17名(2)	●リパークリール活動(15日/浜の浦緑地)	4名(1)
②モスバーガー(7日)	21名(3)	○モーニングウォーク大会(19日/園周辺)	87名(30)
③わんすとおっぱい(25日)	21名(3)		
○ドライブ			
①スマイル班(14日/明谷梅林)	11名(3)		
②カモト班(17日/竜宮公園)	18名(5)		
③エール班(21日/徳島方面)	} 新型コロナ発生の ため中止		
④アサヒ班(21日/勝浦方面)			
○淡島祭(9日/園)	73名(34)	→外部来園者: 約300名	
○バースデーランチ(19日/ドライブイン阿南)	7名(2)		
○お別れ会・送別会(31日/園)	退職者2名		

※上記のほか、学園内でハッピー体操(毎月2回)、絵画教室(毎月2回)、茶道(月1回)、出張スポーツ(毎月1回)、利用者の散髪(年9回)を実施。(新型コロナ感染拡大期には延期・中止等あり)

